

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1 参加者

井谷、大川、西、大石

2 山城・ルート

劔岳 小窓尾根

3 交通手段 車

4 行動記録

入山日 2014年05月02日 下山日 2014年05月04日

5月1日(木) 20:30神戸→3:00馬場島(仮眠)

5月2日(金) 7:15馬場島出発→11:15雷岩→14:45 1614m稜線→16:45 1990mピーク(テント泊)

5月3日(土) 5:30 出発→9:30 ニードル 11:00→11:40 ドーム→ピラミッドピークで道迷い→17:00 ドームに引き返す(テント泊)

5月4日(日) 6:00 出発→7:00 ピラミッドピーク→マッチ箱→10:15 小窓の頭→11:30 小窓→西仙人谷→15:00 馬場島→帰神

5 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a 予定のルート・日程で行動出来たか 予定ルートをはずれた場合あるいは日程が異なった場合はその理由

小窓尾根→劔岳→早月尾根の予定を小窓尾根→西仙人谷に変更した。

5月3日に道迷いがあり、予定の行動ができなかった。天気予報によると5月5日の天気は良くないとのことなので、劔岳はあきらめ、西仙人谷から下山した。

結果、5日は雨だった。劔岳を目指していれば、苦行を強いられたものと思われる。

b 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか 発生した場合は具体的に記す

① 滑落到遭遇

小窓尾根の取り付け1614m稜線への400mの雪壁の登りで私たちの2つ前のパーティが滑落した。新聞報道によると約100m滑落したとのこと。私たちは事故から2時間ほど後、雷岩で彼と遭遇したが、顔は紫色で心肺停止の状態。同行者1名と他パーティの2名が無線、携帯で警察に連絡を図ったが繋がらない。私たちが携帯と無線で連絡したところ、1名の携帯が上市警察につながり救助要請をすることができた。20分ほどでヘリが到着し、滑落者を搬出した。滑落した雪壁は斜度はそれほどでもなくクラストもしていないが、滑落すれば途中で止まることなくすべり落ち、その結果、容易に死にいたることを思い知った。

② 道迷い

5月3日は午後から濃霧となった。ピラミッドピークの巻道を見過ごし、踏み跡に導かれピラミッドピークの先端に登攀するが、その先の岩稜が突破困難で引き戻すことになった。1度のクライムダウンと3度の懸垂下降でピラミッドピークの取り付けまで降りた。登攀途中から雨となり、冬用のヤッケや手袋では雨は容易に全身を濡らしとても寒い思いをした。

③ 渡渉

今回は雪解けが早く、小窓尾根取り付けまで3度の渡渉を強いられた。水量は多く、私たちの前の男女ペアは渡渉困難と判断し引き返して来た。山行を諦めて帰るとのこと。事前に渡渉があることはわかっていたので、メンバーの発案でビニール袋を持参した。これで足を覆い上部をゴムで縛り渡渉しようと計画した。ところが、実際試してみると水量が多く、股下まで覆ったビニール袋の上から水が浸入し靴を濡らす羽目になった。最初にトライした男性二人は、これで靴を濡らした。結局、ズボンを脱ぎ裸足で渡渉することになった。

c パーティーで山行中の事故に繋がる要因について山行後検討したか
特になし。

6 その他ルートに関する情報・気がついた事など

3年連続で剣に行ってきました。雨もありましたが、概ね天候に恵まれよい景色を堪能することができました。今回の山行は先に上げたようにいろいろなことに見舞われましたがよい経験となりました。次に活かしていきたいと思います。同行された方、お疲れ様でした。

報告者氏名 井谷 2014年05月06日



ピラミッドピークからの稜線



ピラミッドピークとマッチ箱



マッチ箱への稜線



小窓の頭への登り